

ひきこもり状態にある子どもへの

家族のかかわり方

参加費
無料

(定員30名)

さまざまなことがきっかけとなり、「ひきこもり」になってしまうことがあります。
家族はそんなとき、どのように声をかけ、かかわっていけばいいのでしょうか？
そのヒントについて学ぶ講演会です。

「子どもが何を
考えているのか
わからない…」

「話しかけても、
返事をしない…」

「おこづかいは
渡してもいいの？」

日程

2020年11月14日(土)

時間

10:00~12:00(9:30から受付開始)

場所

武庫西生涯学習プラザ 大会議室
〒661-0041 尼崎市武庫の里1丁目13番29号

講師

岡崎 剛 氏(臨床心理士)

お申込み・お問い合わせ(裏面をご覧ください)

子どもの育ち支援センターいくしあ
「ユース相談支援事業担当」

TEL

050-5357-8566

mail

youthsoudan-ama@me-rise.com

<講師プロフィール>

岡崎 剛 氏

メンタルワークス大阪

三家クリニック／なんば・ながたメンタルクリニック



大学院修了後、地域若者サポートステーションにて勤務。

「不登校」「ひきこもり」「ニート」などの本人や家族のカウンセリングを担当。また、相談室だけではなくアウトリーチ（訪問カウンセリング）、地域連携なども積極的に行う。現在は、精神科・心療内科にて非常勤の臨床心理士として勤務しながら「メンタルワークス大阪」を開業し、幅広い精神疾患に対してカウンセリングを実施している。

専門は「ひきこもり」「トラウマ治療」「認知行動療法」などで、平成29年内閣府・専門分野横断的研修の講師などを担当。

<尼崎市ユース相談支援事業とは>

卒業や進学、就職のタイミングは、将来に向けて希望を抱く一方で、様々な不安や心配を感じる時期でもあります。またいろいろなきっかけやタイミングで社会との関わりがしんどく感じることもあるかもしれません。

「学校に行くのがつらい」「将来のことが心配」「力がわいてこない」「家族以外との交流がゆううつ」そんな不安な気持ちを専門の相談員が受け止め、これからのことを一緒に考えます。

・専門相談員（社会福祉士、精神保健福祉士など）がご自宅などに訪問し、相談に対応します。

・学校を卒業・中退した後も、引き続き相談対応を行い、サポートを継続します。

・ご家族のみなさまからの相談もお受けします。

・状況に応じて他の支援機関との連携を行います。

<お申し込み方法> メールかお電話にて下記までお申し込みください。

こども青少年局子どもの育ちセンターいくしあ

「ユース相談支援事業担当」（委託事業者：NPO法人み・らいず2）

下記のQRコードからメールが送れます。

■メールアドレス：youthsoudan-ama@me-rise.com

（タイトルに「家族交流会申込」とご記入ください）

■電話番号：050-5357-8566

（月～金13:00～18:00 土11:00～16:00）

■以下4点をお知らせください

①お名前 ②ご連絡先 ③ご本人との続柄 ④どこで交流会のことを知られましたか

■締め切り：2020年11月7日（土）（メールは24:00まで）

定員（30名）になり次第締め切ります

■検温、マスク着用、換気などの感染対策を実施して開催いたしますのでご協力をお願いいたします



「尼崎ユース相談支援事業」はNPO法人み・らいず2が尼崎市より委託を受けて実施しています